第１３４回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成２８年４月１１日提出）

１．題　目：長崎大学新任教職員ガイダンス（ウェルカムＦＤ・ＳＤ）

２．日　時：平成 28 年 4 月 4 日（月）　13：00～15：00
　　4 月 5 日（火）　13：00～17：15

３．場　所：長崎大学（文教キャンパス，坂本キャンパス，片淵キャンパス）

４．主　催：教務委員会
　企画・実施： 評価・FD 教育改善専門部会

５．対　象： 全教職員（非常勤を含む）

６．長崎大学ＦＤに関する指針第二項への該当について【複数選択可】
　（該当するものに○を記入すること）
　[　　]（1）　教員の教育活動に関するもの
　[　　]（2）　カリキュラムの改善に関するもの
　[　　]（3）　教育の組織的改善に関するもの
　[　　]（4）　入学者選抜方法の改善に関するもの
　[　○　]（5）　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）
（1）長崎大学が目指す教育、研究等に関する基本的知識を得ること。
（2）長崎大学にかかわる歴史を知ることにより、大学への理解を深めること。

８．プログラム構成［題目・担当講師］
4 月 4 日（月）
第Ⅰ部　「長崎大学が目指すもの」
　長崎大学に関する基礎知識および国立大学法人としての戦略等について紹介が行われた。
12:45～13:00　受　付（教養教育講義棟２階 Ａ－２４講義室）
13:00～13:15　ウォームアップ
13:15～13:20　開会の挨拶　　松坂　誠應　理事（教学担当）
13:20～14:10　「新任教職員へのメッセージ ～長崎大学の課題と展望～」

片峰　茂　学長

14:10～14:20　「ガバナンス体制及び情報管理について」

河野　茂　理事（総務担当）

14:20～14:30　「長崎大学における研究・仕事と生活の両立支援の紹介」

伊東　昌子　副学長（ダイバーシティ推進担当）

14:30～14:40　「長崎大学の障がい学生支援」

ピーター・バーニック助教（障がい学生支援室）

14:40～14:50　質疑応答

14:50～14:55　閉会の挨拶と翌日の案内　連　清吉　教授（多文化社会学部）

川越　明日香　助教（大学教育イノベーションセンター）

14:55～15:00　集合写真撮影

4月5日（火）

第Ⅱ部　「長崎大学歴史散歩－150年をふりかえる」

2班に分かれ、長崎大学の歴史的遺構を巡るキャンパスツアー「長崎大学歴史散歩」を行う。参加者の皆と共に歩く中で、長崎大学の各キャンパスに残る歴史の流れを感じていただいた。

12:45～13:00　受　付（教養教育講義棟２階 Ａ－２４講義室）

13:00～13:05　開会の挨拶　松坂誠應　理事（教学担当）

13:05～13:15　レシーバーのチェック等・移動

13:15～14:15　文教キャンパス歴史散歩

【文教キャンパス：原爆の惨禍の跡と新制総合大学60年の象徴】

（１）三菱長崎兵器製作所の碑：文教キャンパス誕生の意味　【松坂誠應理事・川越明日香助教

（２）長崎師範学校原爆慰霊碑：学徒動員の中での犠牲　（大学教育イノベーションセンター）】

（３）中部講堂：水産県・長崎の拠点大学としての期待を込めた寄付建物

（４）「若人」の像：　生死の瀬戸際でも人間性を失わない強靭さを願って

（５）附属図書館：新たな学修環境の一環として

（６）環境科学部正門側（旧教養部建物）：時計塔と大壁画／長崎大学と学生運動・教養教育

（７）アクティブラーニング教室：教育方法の刷新のために

（８）①下村脩名誉博士顕彰記念館（薬学部）
②お薬の歴史資料館（薬学部）　【岸川直哉准教授（医歯薬学総合研究科（薬））】

（休憩５分）

14:15～14:30　バス乗車（中部講堂前）・バス移動

14:30～15:35　坂本キャンパス歴史散歩

【坂本キャンパス：生命科学の拠点であり続ける理由～150 年の経験】
(1)　近代医学史料展示室　【志波原智美主査（学術情報部）】
(2)　熱帯医学ミュージアム（医学ミュージアム）　【堀尾政博教授（熱帯医学研究所）】
(3)　原爆医学資料展示室（医学ミュージアム）　【橋本富士子　資料調査室員（原爆後障害医療研究所）】
（休憩 5 分）

15:35～16:05　バス乗車・バス移動

バスルート：
坂本キャンパス→浦上駅前→長崎駅前→国道 499 号線（五島町電停付近から左折）→長崎市立図書館（旧・新興善小学校：被爆時の長崎医科大学附属病院仮施設）→長崎県庁（医学伝習所発祥地）→築町→賑橋→公会堂前→諏訪神社前→片淵キャンパス

16:05～17:10　片淵キャンパス歴史散歩

【片淵キャンパス：キャンパスが語る一世紀の伝統】
(1)拱橋（こまねきばし）：100 年間学生が通い続けた石畳
(2)長崎高商門標：「第三高商」の誇り高い伝統の原点
(3)瓊林会館・赤レンガ倉庫：
原爆被災を免れた貴重な長崎大学の歴史的建物。同窓会の強い結束
【藤田　渉教授（経済学部）】
(4)特別講演：「高商 100 年と武藤文庫」　【深浦厚之教授（経済学部）】
(5)武藤文庫展示室（附属図書館経済学部分館）　【宮脇英俊主査（学術情報部）】

17:10～17:15　閉会の挨拶　　川越明日香　助教（大学教育イノベーションセンター）

９．参加者：　４８名（受講証発行対象者：４７名）
（内訳）

所　　属	人　数
多文化社会学部	2
教育学部	8
経済学部	1
工学研究科	4
医歯薬学総合研究科（医）	4
医歯薬学総合研究科（保）	4

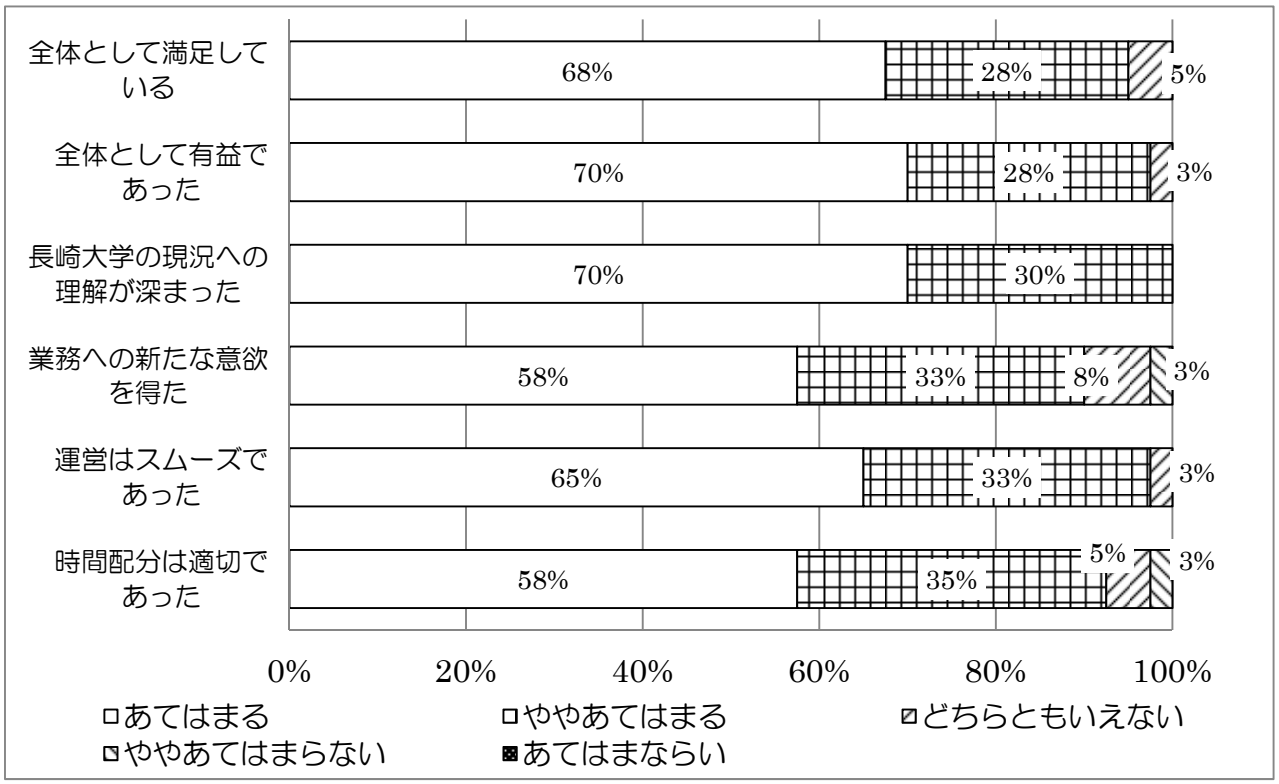
水産・環境科学総合研究科（環）	7
国際連携研究戦略本部	1
国際教育リエゾン機構	2
ICT 基盤センター	1
大学教育イノベーションセンター	1
地域教育連携・支援センター	1
ダイバーシティ推進センター	4
病院	1
事務局	1
研究国際部	1
総務部	1
施設部	3
財務部	1
計	47

※　別紙に参加者名簿を添付してください。

１０．実施したＦＤの成果等

（１）　参加者からの評価

(第 1 部)



（回答者：40 名）

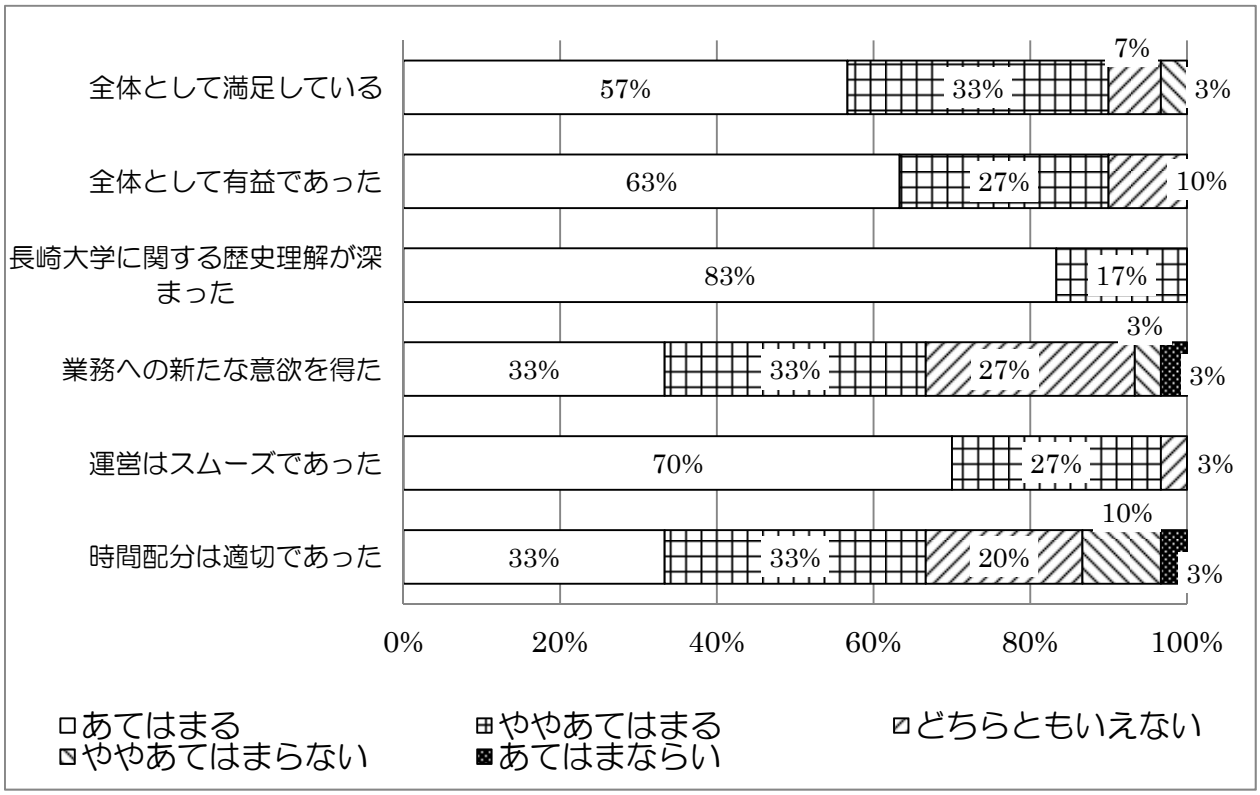
● 今回参加なさって，何か感想や意見がありましたら，ぜひ率直にご記入下さい。

・長崎大学が置かれている現状と課題について認識することができました、と同時に本学が持つ志についても触れさせていただいた思いが致しました。自分にできることを少しずつ見つけながら進めていければと思っています。
・ふだん病院勤務の中では知ることの出来ない内容が多く、大変興味深かったです。特にグローバルコースについては、今回初めて知ることで、これから研修医、実習生として病院にくる人達がそれにあたるのかと思うと、自身も習練しないといけないのだなと身がひきしまる思いがしました。
・学生への教育（学習）支援と自分自身の主体的向上への意欲が高まりました。ありがとうございました。
・参加して大変よかったです。ありがとうございました。
・大変勉強になりました。
・大学の方針などが分かりました。まだ２日目ですのでこれからまた理解していきたいと思います。
・短い時間で充実した内容をご案内いただき、ありがとうございました。
・大変役に立ちました。
・学長の第３期に向けての強い決意を感じることができ、これから私も長崎大学に貢献できるように努力しようと思いました。
・研究費や産学・地域連携についての情報が欲しい
・片峰学長の熱いメッセージに大変感じるものがありました。未来の長崎大学の躍進に寄与できるよう精進していきたいです。
・大学の方針が良く分かりました。
・大学教育に関する各種データを知ることができ、有益でした。
・大学の直面している問題について理解できた。
・非常に有益でした。本学の目指すものがよくわかりました。
・最近の大学は多方面にわたって丁寧に対応しているなという印象を持った。
・長崎大学を含め地方大学のおかれた、きびしい状況がよくわかりました。しかし、その中にあって、長崎大学は、志高く、改革と向上を目指している心いきがよく伝わってまいりました。志は最初にありきですので、大変心強く感じました。
・大学の特色と課題を知る上で大変有益、有用であった。
・進行役の方も進行上手で素晴らしいと感じた。
・参加場所が事前のメールではよく把握することができずに遅刻しました。申し訳ございませんでした。（以上教育職員）
・もう少し時間を使って（長く）実施してよいと思った。

・障害を持った学生への支援体制についてのお話に大変興味を抱きました。障害ではなく個性を認め、学生が学生を支える支援方法はすばらしいと思います。介護や子育ての中の方も、多様性を尊重しあえるようになれたらと思います。明日も楽しみにしております。
・もう少し講習の時間が長くても良いのでは。早口で話されても頭に入らない。（以上事務職員）

● 内容面・運営面のいずれでも，何か改善を要する点にお気づきでしたらご記入下さい。
・コンプライアンスについてガイダンスがあると良いと思われます
・特にありません。ていねいな準備と運営に感謝いたします。
・国際戦略について、在学生への対応については、お話があったが、留学生の受け入れについてのお話がなかった。どういうような支援体制なのか触れて頂きたかった。
・資料等の入手について提供いただけたらと思いました。
・内部の経営構想・ガバナンスは真摯に厳しく、外部に対しては「難しいことをやさしく」の姿勢が大切。
・外部資金獲得の各研究者の貢献が求められ、間接経費への期待も学長のスライドにありました。一方、間接経費は、本来は、その獲得した研究のサポートの為に使用されるべき経費であることが、近年強調され、AMED 末松理事長も間接経費で研究の人件費等に使用可と説明されています。このような点も今後、御配慮をお願いします。
・トイレ休憩を取って欲しい。（以上教育職員）
・受講生のディスカッションの場を設けることができれば、より理解が深まるのでは。（以上事務職員）

（第Ⅱ部）



（回答者：30 名）

● 本日参加なさって、何か感想や意見がありましたら、ぜひ率直にご記入下さい。

・全体的に満足なＦＤで有難い時間でした（キャンパス内でも担当によって若干の濃度の違いがよかったり、やや苦しかったりのところもありましたが・・・）

・大学の歴史や固有の伝統、息づいているものを感じられました。

・ありがとうございました。勉強になりました。

・長崎大学の歴史を直に感じることができて、その歴史の一躍を担うことやできることに悦びを感じています

・大変勉強になり、外国からの来客に案内できるようになりました。有難うございます。

・非常に勉強になりました。

・長崎大学の歴史の深さを知ることができ、大変勉強になりました。外からお客さんが来たときに役立てたいです。

・準備が大変だったものと思います。ありがとうございました。

・詰め込みすぎな気がする

・大変勉強になりましたが、他学部に関連した内容が多く、時間が長く感じた。

・原爆の被災をのりこえてきた大学の経緯が良くわかった。また、世界の先端分野の研究、歴史などがよくわかった。

・本学の同志であるのですが、長崎大学の歴史に初めて触れた新鮮な思いがしています。長崎の歴史とともに文化の発信の拠点として歩んだ長崎大学の歴史、業績に改めて感動致しました。
・普段いけないようなところに説明月でご案内いただき、大変有意義だった。学外の方に、長崎大学のことを自慢できることも多々あり、参加して良かったです。ありがとうございました。
・大学の歴史・建物・人物と知れたのがよかった。また、学部の位置関係も分かり新年度スムーズにスタートできる。
・水産環境科学総合研究科の付属施設の環東シナの研究所は大学にとって大事な施設だと思いますので、これからの方には見ていただく事も検討されてみてはいかがでしょうか。（以上教育職員）
・原爆後研究施設でのお話が大変考えさせられました。木造校舎で学んでいた学生が全員即死で亡くなられたという事実、原爆の後生涯に悩ませながらも、医学の発展のために研究を続けられた先生方がいらっしゃるということ、私たちはその方々のおかげで今があるのだと強く感じました。他の期間も大変興味深く、長崎大学の魅力を再発見することができました。本日と昨日、2 日間に渡り、大変貴重なガイダンスを企画していただき、ありがとうございました。長崎大学の職員の一人に私はなれたんだということに誇りを持ち、一人でも多くの方を支援できるように精一杯業務に励んでまいります。本当にありがとうございました。
・原爆の被災をのりこえてきた大学の経緯が良くわかった。また、世界の先端分野の研究、歴史などがよくわかった。
・日常生活ではあえてみる事のできなかったであろう施設を見学させて頂きとても有意義でした。長崎大学がよりすきになりましたし、はたらけることを誇りに思いました。
・各所丁寧にご案内頂きありがとうございました。
・長かった。
・長崎の歴史を再認識できた。
・長崎県や大学の歴史について学べてよかった。（以上事務職員）

● 内容面・運営面のいずれでも、何か改善を要する点にお気づきでしたら、ご記入ください。
・難しいことかどうかわかりませんが、所属の担当としてのオリエンテーション等と重なっていて、どちらを優先すべきなのか迷ってしまいました。日時の設定はなかなか難しいですね。
・いくつかご紹介いただきましたが、より深く勉強するための参考文献リスト、書誌などがあると良いと思いました。
・部署によってはアンケートが匿名になっていないのが気になる。

・大変スムーズでした。
・少し歩きが長いでしょうか。後半、疲れがでてきました。
・大変配慮が行き届いた運営でした。ありがとうございました。
・各ポイントは少し短くても、十分の満足できる内容だと思います。ご説明いただけるのもうれしいのですが、自分の興味で自由に見学させていただける時間をもう少しいただきたかったです。（医・図書館、原爆）（以上教育職員）
・大学をめぐるのも良いが、教室の使い方など授業に生かせるようなことを知りたかった。
・全体的に掛足なので、もう少しゆっくり見学できれば良かった。（以上事務職員）

（２） 総　括（１０（１）を踏まえＦＤ全体の総括を記述する）

（第Ⅰ部）

フィードバックの結果から、例年と同様に参加者にとって有意義な研修となったことが言える。特に、学長の説明は、本学の現状・課題および今後の方針など、参加者の教育・研究・業務の今後の進め方の参考になったと思われる。しかしながら、限られた時間の中、例年に比べ多くの項目を詰め込みすぎた感もある。このＦＤの目的が「長崎大学が目指す教育、研究等に関する基本的知識を得ること」となっているため、単なるセンターの紹介ではなく、この目的に沿ったもの、例えば、年度内に開催予定のセミナーやＦＤ講習会など過去の実績も含め、今後の参加を呼びかけるようなものでよかったと思われる。一方、参加者からの質疑応答に関しては、例年に比べ少なかった。新規採用の方々には、あまり耳慣れない「第３期中期目標，中期計画，年度計画」に関しては、学長からの説明はあったが、本年度の計画の具体的な説明には時間の関係で触れられてない。一方的な情報提供だけでなく、「第３期中期目標」に対し、参加者がどのような観点で参画できるのかなどを考える時間を取れるように、プログラム編成を行う事も考えられる。

（第Ⅱ部）

満足度に関しては、「長崎大学に関する歴史理解が深まった」の項目は、例年と変わらないものであったが、運営に関しての満足度は非常に評価が高いものとなっている。ツアー当日の天候等にも左右されるものかもしれないが、事前準備が周到に行われた結果と伺える。ただし、ツアー形式の特性上、「業務への新たな意欲を得た」については、前日のＦＤと比較してもあまり効果はない。日程に関しては、授業開始が早まったこともあり、他の行事と重なることが多くあり、日程調整の難しさを感じる。このフィードバックシートにもあるが、授業に生かせる内容（教育・研究に生かせる）要素の導入など「業務への新たな意欲を得た」の項目の充実が望まれる。

（大学教育イノベーションセンター　若菜　啓孝）

１１．実施代表者の連絡先

教務委員会委員長　松坂 誠應
e-mail：nobuou@nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線 2003

１２．申請者の連絡先

学生支援部教育支援課教養教育班
　主査　入口 忠義
e-mail：fd@ml.nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線 2077